

2021 年度 第 11 回 理事会議事録

日 時 : 2022 年 3 月 25 日(金) 17:30~18:15

会 場 : オンライン会議

所在地 : 各施設等

出席者 : 谷、嘉成、宮城、大澤、高野、下口、齊藤、田島、高橋、岡、成定

欠席者 : 服部、湯川、今枝 (順不同、敬称略)

議事に先立ち、本理事会は役員の過半数の出席を認め、成立する旨確認した。

議事進行は、宮城副会長が担当した。

議題 I、編集委員について

II、日本医療検査科学会(第 54 回大会)との共催について

III、2022 年度予算について

I、編集委員について

カメラデン編集委員会細則の改定については現在協議中との報告があった。

カメラデン 71 号をアボットダイアグノスティクスメディカル株式会社に販売する件では、同社から請求書を送付して欲しいとの依頼があり、現在対応中とのことであった。

今年度で退任する田代編集委員の後任者として杏林大学医学部付属病院の小山田氏が推薦され、本理事会にて承認された。高橋編集委員長は任期を 1 年延期し、後任者が決定後に退任となる予定。

来年度のカメラデンについては 1 冊のみ発行することとした。春に発行予定のカメラデンの代わりに、ホームページ上に PDF として記事等を掲載するかは、現在検討中とのことであった。

II、日本医療検査科学会(第 54 回大会)との共催について

シンポジウムのテーマは「臨地実習」とした。演者は日本臨床検査学教育協議会理事長の坂本秀生先生(神戸常磐大学保健科学部医療検査学科)、日本臨床検査技師会理事の桑原喜久男技師(新潟県済生会三条病院)の 2 名が決定した。学生さんの演者として杏林大学 4 年生の学生さんが 1 名決定しており、もう 1 名は、神戸常磐大学の坂本秀生先生に同大学の学生さんを紹介して頂けないか依頼することとなった。(学生さんの抄録に関しては提出しない。)

私立医科大学臨床検査技師会担当のシンポジウムの座長は宮城副会長と下口理事が担当することとなった。

III、2022 年度予算について

来年度のカメラデンの発行が 1 冊のみとなれば、冊子の発行費用が軽減される。理事会の開催についても ZOOM にて Web 開催することが多くなったため、理事会開催費用が軽減される見込みとなった。

提出された来年度の予算書の理事会開催費用に関しては、会場開催する予算と Web 開催する予算が重複して計上されていたため、各々の開催が概ね何回かを勘案し、予算書を作成し直すよう会計担当者に依頼した。余剰金に関しては 40 周年記念にかかる費用の補填や予備費として計上する。今後、余剰金が継続して発生する見通しとなれば、会費の減額も検討する。

以上

連絡事項 : 次回 2022 年度第 1 回理事会は 2022 年 5 月 13(金)17:30~Web 会議にて開催予定